

# そよかぜだより

2015  
12月号



## 十二月（師走）

十一月に入り、今年も残りわずかとなりました。二〇一五年を振り返ってみていかがでしたか。目標を定めてくださった方も、そのなか方も、充実した一年を過ごされた方も。年末に向けて、大掃除や年越しの準備など、大切な日々が過ぎる時期。特に体調の管理に気を付けてください。手洗いやうがい、マスクの着用、空気が乾燥している場合は加湿器の使用も十分注意しましょう。

年末年始休暇のお知らせ

12/28(月)～1/3(日)  
尚、1/4(月)より通常通り診療いたしますのでよろしくお願い致します。

## 職場体験学習に来ました！

11月20日に流山南部中学校、11月25日・27日に常盤松中学校からそれぞれ2名ずつ、職場体験学習に来ました。外の掃除から、基本診査セット器具の準備などいろいろな仕事を体験してもらいました。また、歯科医師・歯科衛生士の仕事も見学してもらい、将来目指す職業の一つとして歯科医師・歯科衛生士に興味を持ってもらえたらと思います。



## 歯肉移植のお話し

前回は歯肉退縮の原因についてお話ししました。今回は、退縮してしまった歯肉の治療法についてお話ししたいと思います。

その治療法には、歯周形成手術の中のひとつである、遊離歯肉移植という治療法です。この方法は、口腔内にある上皮が剥がれた歯肉を必要なだけ取り退縮していった歯肉の上に移植し、糸で縫合する方法です。口腔内にある上皮が剥がれた歯肉より、上の顎の口蓋の歯肉を採取するのがよいです。

左の写真は遊離歯肉移植術を行った後の写真です。①の写真は、歯肉退縮を起こしている歯肉の写真です。また、手術部位に局所麻酔を行います。麻酔が効いていくと、移植した部分の歯肉を切開します。次に上の顎の口蓋の歯肉部分にも局所麻酔をし、口蓋の歯肉を必要なだけ取り取ります。切り取った歯肉を退縮した部分の上から覆い、大きさを適度に良いように確認したら、縫合を行います。その様子を写したのが②の写真です。また、切り取った部分も縫合を行います。縫合した後は、感染防止のために数日間、バンコリン塗布剤を塗布します。

手術した後は、通常約1週間ほど、糸を抜き、歯周パックは一週間後に変換します。手術した一ヶ月以内は、移植部位に歯肉の毛先をそのまま強く当たらないように気を付けましょう。③の写真は術後の写真です。完全に治癒するまでは少し時間がかかりますが、退縮した歯肉が見える状態でしたが、きれいに歯肉で覆われています。審美的にも取り戻すことができ、歯肉の厚さを保つこともでき、痛みがなくなりました。手術中も麻酔をして痛みがほとんどなく、手術後も痛みがほとんどありません。

今回は審美的な口腔内についてお話ししたいと思います。



①



②



③

「歯科衛生士教本歯周治療」より参照

## 東深井小学校5年生ブラッシング指導

10月29日に、東深井小学校5年生のFDテストとブラッシング指導を行いました。むし歯の原因や、歯磨きの重要性などを知り、実践してもらいました。最後のまとめクイズは正解率もよく、盛り上がりました。真剣に話を聞き、考える貴重な時間になったと思います。



## 院長より

今年もあと残りわずか、一か月となりました。例年と比べると暖かい日が多いような気がします。当医院でも例年通り入る前のスロープにはイルミネーションが夕方から点灯しております。この時間には外は真っ暗になり、この光を見るとクリスマスが近いと感ぜられるのではないのでしょうか。少しでも皆様の気持ちに温まればと思います。優しい気持ちもなれます。

年を越すと当医院の1月の日曜日が入ります。この最近の医院の動向としては、専門医による専門外来、歯科用マイクロスコープの導入、歯科用レントゲンCTの導入など最先端の機器も入り、今後も診療の充実を図りたいと考えております。とともに開院以来継続しているヘルスケア（健康増進）型の歯科疾患予防型医院として皆様のお役に立てるようにスタッフ一同お待ち申し上げております。